

入場無料
ご自由に観覧
できます。

※客席が満席になる場合は、
入場規制を行う可能性があります。

第8回 全国 虎舞 フェスティバル

2018 2.11[日] 開場10:00 開演11:00 終演15:00(予定) 釜石市民ホールTETTO (釜石市大町)

釜石市ほか県内虎舞出演団体

釜石虎舞保存連合会、尾崎青友会、只越虎舞、錦町青年会、
鶴住居青年会、白浜虎舞好友会、平田青虎会、箱崎虎舞保存会、
かまいしこども園、釜石小学校(以上釜石市) 大沢虎舞(山田町)、安渡虎舞保存会(大槌町)

県外虎舞出演団体

小稲虎舞(静岡県南伊豆町)
松園虎舞(宮城県気仙沼市)
火伏せの虎舞(宮城県加美町)

お問い合わせ／釜石観光物産協会 TEL0193-27-8172 ※2/11当日のみ【イベント本部携帯】090-2989-0700

【主催】幸せ出する国いわて実行委員会、釜石観光物産協会、釜石市 【共催】釜石虎舞保存連合会 【後援】釜石市教育委員会 【特別協賛】アサヒグループホールディングス

県外虎舞出演団体

小稲虎舞(静岡県南伊豆町)

小稲の虎舞は、静岡県賀茂郡南伊豆町手石の西南に位置する小稲地区に伝承され、毎年旧暦8月14日、中秋の名月の前夜に小稲米宮神社の祭礼に行われます。虎舞いは、江戸時代の劇作家近松門左衛門の書いた「国姓爺合戦」の一部を舞いにしたものとわれ、「和藤内」が竹藪にさしかかったときに、大虎と出くわし、格闘の末、虎を生け捕りにし連れ帰るという筋書きになっています。全国的にも珍しい舞いであるため、静岡県の無形民俗文化財に指定されています。

まつばたけとらまい

松園虎舞(宮城県気仙沼市)

本虎舞は、笛と大小の太鼓が奏でるテンポのよい打囃子にあわせて、12メートルの大梯子に、虎囃子(虎の先導役)と2人立ちの虎が登って演じる勇壮な舞が特徴です。松園地区の郷社である御崎神社の例祭に、航海安全や大漁を祈願として奉納されてきたもので、当地の生活と結びついて発展してきた芸能です。また虎頭は、獅子頭に近い形相をもつことから、岩手県の根崎・末崎虎舞で継承されてきたものの流れを汲み、古態を今に伝えています。宮城県指定無形民俗文化財。

火伏せの虎舞(宮城県加美町)

この地区に室町時代から伝わる火伏せの舞いは「雲は龍に従い、風は虎に従う」の中国の故事に習い、虎の威を借りて風を鎮めようと稲荷明神の初午まつりに虎舞を奉納、火伏せを祈願したのが起源とされています。お囃子にのって、町内を色鮮やかな山車と虎が練り歩き、各家の防災と家内安全を祈願します。花楽小路祭典本部前では、高屋根に上った数匹の虎が、10時頃から、午前3回、午後2回勇壮な舞いを披露します。



小稲虎舞



松園虎舞



火伏せの虎舞

釜石市ほか県内虎舞出演団体

かまいしこども園／子ども達のパワーで釜石を盛り上げようと虎舞をはじめて7年目になりました。年長組は躍動感あふれる虎舞、年中組は元気いっぱいのお囃子で盛り上げます。新しい釜石の市民ホールで虎舞が出来る事を嬉しく思います。皆さん応援よろしくお願いします。

釜石市立釜石小学校／(釜石小学校では、毎年、学習発表会で全校虎舞を披露しています。先輩から後輩へ踊りや演奏を引き継ぎ、全校児童が一丸となって虎舞を作り上げています。かわいい1年生から、力強く迫力のある6年生の演技まで、見所がたくさんです。どうぞ、ごゆっくりご覧ください。

平田青虎会(ヘイタセイコカイ)／起源は明白ではありませんが、約780年前、閉伊頼基(ヘイヨリモト)が将卒(ショウソツ)の士気を鼓舞するため、虎の縫いぐるみをつけさせて踊らせたのが始まりと言われています。踊りは尾崎町(オサキチョウ)同系統の虎舞であると言われています。

白浜虎舞好友会(シラハマトラマイコウユウカイ)／昭和55年頃、鶴住居虎舞(ウノスマイトラマイ)の指導をうけて発足しました。演目には矢車(ヤグルマ)、はね虎(ハネトラ)、笹ばみ(ササバミ)、などがあります。航海の安全と操業の無事安全、大漁を祈願し奉納されています。

箱崎虎舞保存会(ハコザキトラマイホゾンカイ)／箱崎虎舞は昭和46年頃に海沿いの小さな集落で作られました。演目には、矢車・跳ね虎・笹喰み3種類があり、威勢のよい掛け声と勇壮な舞いが特徴となっております。多方面からのご支援への感謝の気持ちを忘れずこれからも活動を続けて行きたいと思っております。

鶴住居青年会(ウノすまいせいねんかい)／鶴住居虎舞は、太神楽の拍子を取り入れたように思われる趣を持ち、虎頭を使った踊りは優雅な舞であることから「雌虎」と称されており、手踊りが数多く伝承されているのが特徴です。

只越虎舞(タダゴエトラマイ)／毎年、綿津見神社(わだつみじんじゃ)、尾崎神社(おさきじんじゃ)新日鐵釜石山神社(さんじんしゃ)の例大祭に奉納しております。平成10年より白虎を舞踊化し虎舞として奉納しているところが特徴でございます。

尾崎青友会(おさきせいゆうかい)／尾崎町虎舞は元は台村と言われ現在は浜町2丁目に伝わる「尾崎虎舞」が前進である。踊りの特徴は聖獣とされた虎に願望を話し、漁師町らしい浜っ子気質の威勢の良い独特の囃子と、虎の猛々しい生態を表した舞が特徴とされ、演目には矢車、跳ね虎、笹喰みの他に龍虎舞や刺鳥舞なども受け継がれている。

安渡虎舞保存会／虎舞は江戸中期、山田町大沢より釜石市片岸に伝わったと云われ、安渡虎舞は天保年間に釜石片岸の虎舞より指導を受けて伝承されたと云われている。演目は通り舞、大黒舞、頌徳舞、露喰(和藤内の虎退治)があります。

錦町青年会(にしきちようせいねんかい)／錦町虎舞は、門前虎舞(もんぜんとらまい)と称したが町名の変更により錦町となり現在は浜町3丁目となっているが、旧町名のまま「錦町虎舞」と呼称している。毎年10月の尾崎まつり、6月の綿津見まつり(わだつみ)の祭礼供奉(さいれいくぶ)の他各種芸能大会でも披露されている。

大沢虎舞／演目は差し鳥舞と虎舞です。差し鳥舞は、一般市民が小づかい欲しさに差し鳥をするのですが、うまくいかず、最後にはたぬきに騙されて散々な目に合う、虎舞は江戸時代の劇作家、近松門左衛門の名作、国姓爺合戦の一節、千里竹の和藤内の虎退治の場面を踊っています。

釜石虎舞保存連合会／釜石虎舞保存連合会は、市内7団体からなる組織で主に市外県外から要請があった際に各団体から編成し連合会として遠征をしています。震災後は大阪泉大津のだんじりや各イベント会場に出向き支援のお礼の意味も込め釜石虎舞を披露しています。

